

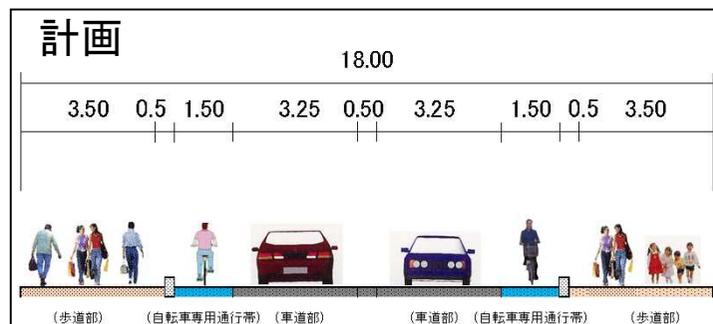
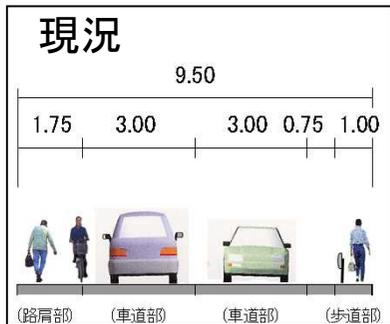
投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 上野 敏明 (街路班長 芦田 渉)	内線	4474 (4480)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
街路事業	都市計画道路 塚口長尾線(昆陽南)	伊丹市昆陽泉町 ～昆陽南	9.5億円	7.4億円	平成30年度	平成35年度
事業目的			事業内容			
<p>当該路線は、尼崎市と宝塚市を結ぶ幹線道路であるとともに、阪急伊丹駅へのアクセス、周辺の小学校、中学校、高校への通学等で利用の多い、地域の重要な道路である。</p> <p>○ 安全で円滑な交通の確保 伊丹市の「自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車専用通行帯を設置するとともに、歩道の拡幅、交差点改良を行うことで、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○ 都市防災機能の強化 本路線は、阪神間南北幹線道路である尼崎宝塚線などの緊急輸送道路を補完する道路として、拡幅整備することで、大規模地震時等の防災機能を強化する。</p>			<p>【延長】 歩道整備 延長365m 【計画幅員】 2車線 両側歩道 4.0m 自転車専用通行帯 1.5m 車道7.0m (全幅18.0m)</p> <p>【現況交通量】 自動車：12,261台/日 (H27実測) 歩行者：1,085人/12h (H27実測) 自転車：1,742台/12h (H27実測)</p> <p>【負担割合】 国：55%、県：22.5%、市：22.5%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 当該工区は、周辺に摂陽小学校、西中学校、市立伊丹高校等が立地しており、通学等で利用されているが、狭小な歩道や一部歩道が無い区間を通行しており、歩行者の安全を確保する必要がある。</p> <p>② 当該工区は、阪急伊丹駅への通勤などで自転車利用者が多く、過去5年間に21件の交通事故が発生して、そのうち10件は自転車関連の事故であり、安全で円滑な自転車通行空間の確保が必要である。</p> <p>③ 緊急輸送道路の補完ルートに位置づけられており、拡幅整備による防災機能の強化のため、早期整備が必要である。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>① 自転車専用通行帯を設置することで、歩行者と自転車の交通分離を図り、双方の安全で円滑な走行空間を確保できる。さらに、歩道を拡幅整備することで、歩行者の安全性向上を図ることができる。</p> <p>② 広幅員化により、建物火災や倒壊等が発生した際でも通行できる道路として、防災機能の強化を図ることができる。</p> <p>③ 地元より早期事業着手の要望がなされており、協力体制等事業執行環境が整っている。</p> <p>④ 当該路線の本工区以北は、既に整備済みである。</p> <p>⑤ 平成29年3月都市計画変更決定</p>					
(3) 環境適合性	<p>① 車道舗装を排水性舗装とし、交通による騒音を低減し、沿道環境の改善を図る。</p> <p>② 歩道舗装を透水性舗装とすることで、雨水が地盤へ浸透し、ヒートアイランドの抑制や地下水涵養など都市環境の改善に寄与する。</p>					
(4) 優先性	<p>① 伊丹市の「自転車ネットワーク計画」で自転車専用通行帯の早期着手区間に位置づけられている。</p> <p>② 当該工区を通学路として利用していることから、通学児童などの安全を早急に確保する必要がある。</p> <p>③ 地域の道路強靱化プランにおける補完ルートに位置づけられており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上でも早期整備が必要である。</p>					

街路事業 都市計画道路 塚口長尾線〔昆陽南工区〕



横断図



事業概要

事業区間：伊丹市昆陽泉町
～昆陽南

事業概要：歩道整備

延長：365m

幅員：7.0m(18.0m)

総事業費：9.5億円

事業期間：H30～H35

事業の必要性

- ① 阪急伊丹駅周辺の歩行者・自転車利用者の通行空間を確保
- ② 自転車専用通行帯の設置により、歩行者と自転車の分離を図り、双方の安全性を向上



① 歩行・自転車通行空間が狭隘



② 路肩が狭小、歩道が無い



③ 交錯する自転車



道路・街路事業の効果、事業工程

対象事業：都市計画道路事業（都）塚口長尾線（昆陽南）

（１）都市計画道路（塚口長尾線）の整備による効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○	緊急輸送道路を補完する道路の整備による防災機能の強化
		救助・救援活動の支援 (※災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○	緊急輸送道路を補完する道路の整備による防災機能の強化
		減災対策への取り組み (※二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○	火災時の延焼遮断帯としての機能を確保
	平時	救急医療体制の支援	○	市立伊丹病院（二次救急医療機関）等へのアクセス性が向上
		交通安全対策	○	歩道拡幅、自転車レーン設置による安全な歩行者・自転車空間を確保
	②地域の活性化	地域間交流の促進		—
中心市街地の活性化		○	自転車による駅へのアクセスが向上	
地域産業の活性化		—	—	
観光支援		—	—	
地域プロジェクト等支援		—	—	
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上		○	バス路線定時性の確保
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成		○	<ul style="list-style-type: none"> ・車道部の排水性舗装による車両騒音の低減 ・景観に配慮した歩道舗装の採用

（２）地域からの要望状況等

要望状況等	地元から早期整備の要望がある。
-------	-----------------

（３）事業工程

	H30	H31	H32	H33	H34	H35
調査設計						
用地補償						
工事						